

仙台市南蒲生浄化センターCN処理場計画

- 宮城県仙台市南蒲生浄化センターにおいて、省エネ技術や創エネ技術の導入によりカーボンニュートラルを推進



下水汚泥の資源化 老朽化した汚泥処理施設の再構築を行い、汚泥の全量を消化し資源化処理(燃料・肥料原料)を行う。

消化ガス発電

老朽化した既設汚泥濃縮施設の改築に合わせて消化施設を整備し、消化ガス発電事業を行う。

太陽光発電

既設太陽光発電・小水力発電に加え、南蒲生浄化センター未利用地にオンサイトPPAによる太陽光発電設備を導入する。

省エネ

低動力型高効率遠心脱水機を導入し、消費エネルギー量の削減を図る。

- 省エネ技術導入によるエネルギー削減効果 48%
- 創エネ技術導入によるエネルギー創出効果 3759%